



日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

ベンジャミン

通信

2017/4/6発行

第20号

1期生卒業式及び
2期生入学式 vol.1

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします

創造力と人間性を育成するオルタナティブスクール 1期生卒業式及び2期生入学式

1期生23名が
1年の過程を修了

日本ベンジャミン人間性英才学校1期生卒業式と2期生入学式が4月2日、三重県志摩市の地球市民研修センターにて行われ、保護者、メンターなど約160名が出席しました。



品川玲子校長は「脳教育を通して新しい変化の時代を導く未来の人材を育てる学校として作られたベンジャミン学校は、自分の価値を見出し、大きな夢を探し、地球の希望となる学校です。これまで日・米・韓の生徒たちが国際地球市民キャンプを通して言語、文化を超え、弘益精神と地球市民精神を通して一つになる感動的な体験をたくさんしてきました。今年も中国にも設立される予定で、さらなる

グローバル化が期待されます」と式辞を述べました。

自分の夢と想いを
語れる教育の実践

伊勢志摩サミット開催に尽力された中嶋年規三重県議会議員は「何か現在の教育に足りないものがあるのではと思っていた時にベンジャミン学校でお話する機会をいただきました。夢は何かと尋ねたらすぐに笑顔で答えてくれた1期生に出会って、夢に向かって自分の思いを語れる人間を作っていく教育がここで実践されていると感じ、その時から私はここを応援したいと思った」とし、「自然の豊かさがいっぱい志摩市で地球市民の皆さんが大きく成長されることをご祈念申し上げます」と来賓を代表して祝辞を述べました。



人間性英才として
成長した卒業生

社会と地球を生かす人間性英才として成長した卒業生は、全員で心を合わせて設立者のメッセージ「母なる地球に捧げる歌」を朗読しました。



そして、卒業証書授与。体力、心力、脳力を鍛えるベンジャミン学校では、ベンジャミン12段(逆立ち歩き)で校長のところまで行き、卒業証書を受け取ります。卒業生を代表して木庭大晴君、真坂海生君、吉村相生君の3名が披露しました。



最後に新入生代表が自分と社会と人類、そして地球に役立つ地球経営者としての決意を表明する「地球経営宣言文」を朗読しました。



夢と可能性を見つげるオルタナティブスクールとして教育に新たな風を起こしているベンジャミン学校は、北海道、東京、名古屋、大阪、九州、沖縄など全国14か所の学習館で運営され、大学教授、議員、声優、建築家、CEO、芸術家など約150人のメンターが生徒たちにプロジェクトの指導、職業体験や夢についてのアドバイスを提供しています。

ベンジャミン人間性英才学校は

ブレインワークショップ(メンター特別講義、ベンジャミンリーダーシップ教育、地球市民教育など)、ベンジャミンプロジェクト(世界に役立つ独自のテーマを決めてメンターのサポートを受けながら1年間生徒が自ら進行していくプロジェクト)、メンタリング(様々な分野のメンターから個別にアドバイスをもらう)などのプログラムで、自己啓発、自己省察、進路体験活動などをしながら、自分で人生を作っていく力を養います。

